

大会宣言（案）

茨城県内における昨年の労働災害は、死亡者数が23人と一昨年に比べ7人減少したものの、休業4日以上死傷者数は、新型コロナウイルス感染症によるものを除くと3,255人となり、一昨年と比較して220人増加している。

一方、水戸労働基準監督署管内における昨年の労働災害は、休業4日以上死傷者数が730人となり、一昨年と比較して63人増加し、うち、3人もの尊い人命が失われる極めて憂慮すべき事態となり、死亡災害の撲滅が何より求められている。

企業が自社の短期的な利益だけでなく、サステナブル経営が求められる昨今、労働災害を防止するためには、経営トップが強いリーダーシップを発揮し、労使一体でリスクアセスメントをはじめとする様々な安全衛生活動に継続的、かつ、計画的に取り組む必要がある。また、雇入れ時教育、職長教育などの安全衛生教育を効果的に実施することは人材育成の上で極めて重要であり、人材確保にも通ずるものである。

本大会を契機に、すべての関係者が一丸となり、だれもが健康に働き、労働災害のない安全な職場づくりを推進するため、全力で取り組むことをここに宣言する。

令和6年9月11日

水戸地区産業安全衛生大会

令和6年度 全国安全週間スローガン

『 危険に気付くあなたが目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全 』

令和6年度 全国労働衛生週間スローガン

『 推してます みんな笑顔の 健康職場 』